

(別紙様式2)

平成28年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価

都道府県名：富山県
農業委員会名：舟橋村農業委員会

I 農業委員会の状況(平成28年4月1日現在)

1 農業の概要

	田	畠				計
			普通畠	樹園地	牧草畠	
耕地面積	181	2	0	0	0	183
経営耕地面積	162.95	3.94	3.94	0	0	166.89
遊休農地面積	0	0	0	0	0	0
農地台帳面積	176.19	2.42	2.42	0	0	178.61

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入

※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

	農家数(戸)
総農家数	63
自給的農家数	0
販売農家数	63
主業農家数	3
準主業農家数	16
副業的農家数	44

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	農業者数(人)
農業就業者数	246
女性	122
40代以下	147

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	経営数(経営)
認定農業者	7
基本構想水準到達者	0
認定新規就農者	1
農業参入法人	2
集落営農経営	1
特定農業団体	1
集落営農組織	0

※農業委員会調べ

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 29 年 7 月 19 日

	選挙委員		選任委員					合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦	計	
農業委員数	8	8	1	1	0	2	4	12
認定農業者	—	1	0	0	0	0	0	1
女性	—	0	0	0	0	1	1	1
40代以下	—	1	0	0	0	0	0	1

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 年 月 日

	農業委員		定数	実数	地区数
	定数	実数			
農業委員数					
認定農業者	—				
認定農業者に準ずる者	—				
女性	—				
40代以下	—				
中立委員	—				

*現在の体制を記載することとし、年度途中で切り替わった場合はいずれも記載

II 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (平成28年4月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	181ha	81ha	45%
課 題	農家の高齢化や後継者不足により地域の農業を担う者が減少しており、地区の状況に合わせた担い手の育成・確保を図っていく必要がある。 特に、仏生寺・竹鼻・竹内地区の約60haは、旧耕地整理方によって整備された10a区画であり、かつ周辺農道整備の遅れから、作業効率が悪く受けた不足が深刻化しているため、基盤整備を軸とした担い手の育成・確保と一体となった利用集積が急務となっている。 また、その他地区においては、耕作条件は良いものの、農業従事者の高齢化も進んでおり、認定農業者や集落営農組織等を主とした担い手の育成・確保と一体となった利用集積を図る必要がある。		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、活動計画に記載した担い手（認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者）へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 平成28年度の目標及び実績

集積目標 ①	集積実績 ②	(うち、新規実績)	達成状況(②／①×100)
88ha	98ha	7ha	111.4%

※1 集積目標は、活動計画に記載した集積面積を記入

※2 集積実績は、年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※3 新規実績は、集積実績のうち1年間に新規集積面積（非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転がされた農地）をどの程度増加させたかを記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	7～8月に人・農地プランの変更のための座談会を行う。
活動実績	座談会や個別の状況を確認しながら集積できるように誘導した。

※ 活動実績は、目標の達成のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	新規も含めて、担い手へ誘導が行われ、目標を達成できた。
活動に対する評価	目標は達成したが、さらなる集積に取り組む

Ⅲ 新たに農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	25年度新規参入者数	26年度新規参入者数	27年度新規参入者数
	0 経営体	0 経営体	0 経営体
	25年度新規参入者が取得した農地面積	26年度新規参入者が取得した農地面積	27年度新規参入者が取得した農地面積
	0 ha	0 ha	0 ha
課題	新規就農者については、個人・法人ともに相談等もないのが現状である。しかしながら、今後農家の高齢化等に伴い、担い手不足が進展する恐れがあり、対策をとる必要がある。		

※1 新規参入者数は、活動計画に記載した過去3年の農地の権利移動を伴う新たな新規参入者数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない。

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 平成28年度の目標及び実績

参入目標①	参入実績②	達成状況(②／①×100)
1経営体	2経営体	200%
参入目標面積③	参入実績面積④	達成状況(④／③×100)
1ha	1.5ha	150%

※1 参入目標及び参入目標面積は、活動計画に記載した参入者数及び農地面積を記入

※2 参入実績は、1年間に新たに参入した新規参入者数を記入

※3 参入実績面積は、上記で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	
活動実績	

※ 活動実績は、目標の達成のために、何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	
活動に対する評価	

IV 遊休農地に関する措置に関する評価

1 現状及び課題

現 状 (平成28年4月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	ha	0ha	%
課 題	自己保全管理や調整水田が遊休農地に発展しないような対策が必要		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、活動計画に記載した農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 平成28年度の目標及び実績

解消目標①	解消実績②	達成状況(②/①×100)
ha	ha	%

※1 解消目標は、活動計画に記載した解消面積を記入

※2 解消実績は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

3 2の目標の達成に向けた活動

活動 計 画	措置の内容	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
	農地の利用状況 調査	12人	7・8月	9月～10月
	調査方法	農地パトロール(転作確認時の同行を含む)を全地区で実施し、今後作付けの意向が見られない所有者に対して、意向調査を実施する。		
	農地の利用意向 調査	調査実施時期:7月～8月		
活動 実 績	その他の活動			
	農地の利用状況 調査	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
		12人	8月	9月～10月
	農地の利用意向 調査	調査実施時期 7月～8月	調査結果取りまとめ時期	
		第32条第1項第1号	第32条第1項第2号	第33条
	調査数:	筆	調査数:	筆
	調査面積:	ha	調査面積:	ha
	その他の活動			

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	
活動に対する評価	今後も農地パトロールを行い、発生抑止に取り組む

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (平成28年4月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	181ha	0ha
課 題	違反転用の発生防止のために農業者への周知を図るとともに、農地パトロールを徹底する	

※ 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、活動計画に記載した管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 平成28年度実績

実 績①	増減(B-①)
0ha	0ha

※ 実績は、年度末時点の違反転用面積を記入

3 活動計画・実績及び評価

活動計画	7月 座談会の際の周知・農地パトロールの実施
活動実績	7月 農地パトロールの実施
活動に対する評価	違反転用の未然防止に努めた

※ 活動実績は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

VI 農地法等によりその権限に属された事務に関する点検

1 農地法第3条に基づく許可事務

(1年間の処理件数: 1件、うち許可 1件及び不許可 件)

点検項目		具体的な内容					
事実関係の確認	実施状況	許可申請があった際には、地図や写真、権利を持つ者の同意書といった客観的資料に基づき確認を行っている。					
	是正措置						
総会等での審議	実施状況	審議する際には、許可基準の項目ごとの申請書等の内容が適合するか否かを判断している。					
	是正措置						
申請者への審議結果の通知	実施状況	申請者へ総会等での指摘や許可条件等を説明した件数		件			
		不許可処分の理由の詳細を説明した件数		件			
審議結果等の公表	是正措置						
	実施状況	総会議事録を作成し縦覧に供している。					
処理期間	是正措置						
	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 21日	処理期間(平均)	19日		

2 農地転用に関する事務（意見を付して知事への送付）

(1年間の処理件数: 10件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	許可申請があった際には、地図や写真、権利を持つ者の同意書といった客観的資料に基づき確認を行っている。			
	是正措置				
総会等での審議	実施状況	審議する際には、許可基準の項目ごとの申請書等の内容が適合するか否かを判断している。			
	是正措置				
審議結果等の公表	実施状況	総会議事録を作成し縦覧に供している。			
	是正措置				
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 21日	処理期間(平均)	19日
	是正措置				

3 農地所有適格法人からの報告への対応

点検項目	実施状況	
農地所有適格法人からの報告について	管内の農地所有適格法人数	2 法人
	うち報告書提出農地所有適格法人数	2 法人
	うち報告書の督促を行った農地所有適格法人数	0 法人
	うち督促後に報告書を提出した農地所有適格法人数	0 法人
	うち報告書を提出しなかった農地所有適格法人	0 法人
	提出しなかった理由	
	対応方針	
農地所有適格法人の状況について	農地所有適格法人の要件を欠くおそれがあるため農業委員会が必要な措置をとるべきことを勧告した農地所有適格法人数	0 法人
	対応状況	

4 情報の提供等

点検項目	具体的な内容		
賃借料情報の調査・提供	実施状況	調査対象賃貸借件数	27件 公表時期 平成29年2月
		情報の提供方法:農業委員会窓口で総覧	
農地の権利移動等の状況把握	実施状況	調査対象権利移動等件数	40件 取りまとめ時期 平成29年2月
		情報の提供方法:	
	是正措置		
農地台帳の整備	実施状況	整備対象農地面積	181 ha
		データ更新:随時	
		公表:	
	是正措置		

※その他の事務

上記ⅡからⅥに掲げる事務以外の事務について、次年度の目標及びその達成に向けた活動計画を作成する場合には、それぞれの事務ごとに、上記様式に準じて取りまとめること。

VII 地域農業者等からの主な要望・意見及び対処内容

農地利用最適化等に関する事務	〈要望・意見〉 なし
	〈対処内容〉

農地法等によりその権限に属された事務	〈要望・意見〉 なし
	〈対処内容〉

※ II～VIの事務について、活動を通じて地域の農業者等から寄せられた主な意見及び対処方針について記載

VIII 事務の実施状況の公表等

1 総会等の議事録の公表

HPに公表している

（他の方法で公表している）

窓口にて縦覧

2 農地等利用最適化推進施策の改善についての意見の提出

意見の提出件数 0 件

提出先及び提出した意見の概要	なし
----------------	----

3 活動計画の点検・評価の公表

HPに公表している

（他の方法で公表している）

窓口にて縦覧